

教科(科目)	地理歴史（地理総合）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次（必修）
使用教科書	帝国書院『高等学校 新地理総合』、帝国書院『新詳高等地図』				
副教材等	帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS」(ホップ・ステップ・ジャンプ)プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に着けるようにする。地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や説明したりする力、議論したりする力を養う。地理にかかわる諸事象について、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さの自覚を深める。

3 指導の重点

進路希望が多岐にわたっていることから、

- ① 地理に関わる諸事象について、その特徴や背景などを正しく理解することを目指します。
- ② グローバルな視座と地域的な視座から、地理的な諸課題への対応を考察します。
- ③ さらにそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身につけている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・小テストの分析 ・提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発言の観察 ・提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言の観察 ・グループ活動への取り組み状況 ・提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	第1部 第1章 地図と地理情報システム	教科書 資料集 ワークシート	・地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、時差の計算に積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。		2		
	・インターネットを使ってさまざまなWeb 地図にアクセスし、日常的に使われている GNSS や GIS など、新しい地図表現の役割を理解する。		2		
5	第1部 第2章 結び付きを深める現代世界	教科書 資料集 ワークシート	・国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	・交通・情報・通信手段の発達がどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。		2		
	・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを、実体験とともに考える。				
6	定期考査			1	a, b
	第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解	教科書 資料集 ワークシート	・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域を理解する。	10	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	・変動帯はプレートテクトニクスによって説明され、日本列島は4つのプレート境界にあることを理解する。				
	世界の地形と人々の生活	・写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害に関する日常的な備えの重要性に気づく。			
	定期考査			1	a, b
7	世界の気候と人々の生活	教科書 資料集 ワークシート	・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環、恒常風と季節風について理解する	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
8	・雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解する。		2		
			・写真や模式図を用いて、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子を把握し、発表する。		

	9	世界の言語・ 宗教と人々の 生活	教科書 資料集 ワーク シート	・言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への 影響について理解する。 ・多様なアイデンティティを持つ世界の人々と 共生していくために、他者の文化を尊重し、自ら の文化を知ることが重要であることを学ぶ。	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
		歴史的背景と 人々の生活			2	
	10	定期考査			1	a, b
		世界の産業と 人々の生活	教科書 資料集 ワーク シート	・自然環境・社会環境の面から、人々の食生活や 農業形態の地域差について理解する。 ・主題図を用いて、国や地域ごとの工業の違いと その要因を考察する。 ・商業や情報通信産業の発展による世界のグロー ーバル化について、そこでみられる課題について 考える。	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	11	農業			4	
		工業			3	
	12	現代の産業			1	a, b
		定期考査				
	1	第2部 第2章 地球的課題と 国際協力	教科書 資料集 ワーク シート	・地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題 の解決に向けての取り組みや私たちにできるこ とについて理解する。 ・熱帯林の破壊、地球温暖化の原因とその理由、 対策と課題について多面的・多角的に考察する。 ・持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を学び、達 成に向けて自らの行動を見直すことができる。	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
		複雑に絡み合 う地球的課題			2	
		地球環境問題			2	
		資源・ エネルギー問 題			2	
	2	人口問題	教科書 資料集 ワーク シート	・世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミ ッドからみる国や地域人口の特徴について理解 する。 ・先進国と発展途上国がそれぞれ抱える人口問 題や食料問題の違いを考察する。 ・通学路や学校周辺の空き家など、身のまわりの 都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向け学 習内容を振り返る	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
		食料問題			2	
		都市・居住問 題			2	
	2	第3部 第1章 自然環境と防 災	教科書 資料集 ワーク シート	・変動帯で見られる地震や火山の特徴を体系的 に学び、その備えについて具体例を通して理解す る。 ・日本に暮らす人々の生活は、気候や局地的な気 候、地形などに影響を受けて受けていることを、 実体験に基づいて理解する。	2	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
		日本の自然環 境				
		地震・津波と 防災				

3	火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	教科書 資料集 ワークシート	・自らが住む地域のハザードマップを入手し、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、また避難時に障害となる場所はどこかなど、そこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組む。	3	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c
	定期考査			1	a, b
	第3部 第2章 生活圏の調査と地域の展望	教科書 資料集 ワークシート	・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身に付ける。 ・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ発表する。 ・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し自ら発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有する。	3	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認) a, b, c

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・单元ごとに、ワークシートおよび振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・定期考査ごとに、授業ノートを提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

私たちが暮らす日本社会はいま、高度情報化や少子化・高齢化の進展、外国からの旅行者や労働者の流入などによって、大きく変わろうとしています。私たちは、そういった変化とうまく付き合っていかなければなりません。それには異文化への理解や新しい環境を受け入れる意識が必要となります。その際、多様な自然と人間の相互関係やそこから生まれた文化に注目する地理を学ぶ意義は大きく、「地理総合」では、地理に関わる諸事象について、地理的な見方や考え方、地図やGISの活用をはじめとする地理的技能を身に付け、私たちの身の回りのさまざまな社会問題を自らの手で考察できるようにしていきます。1年間の学習を通じて、世界への認識を高め、力を伸ばしていきましょう。

(担当 : 山岸 大悟)